



インターバル実習

説明資料

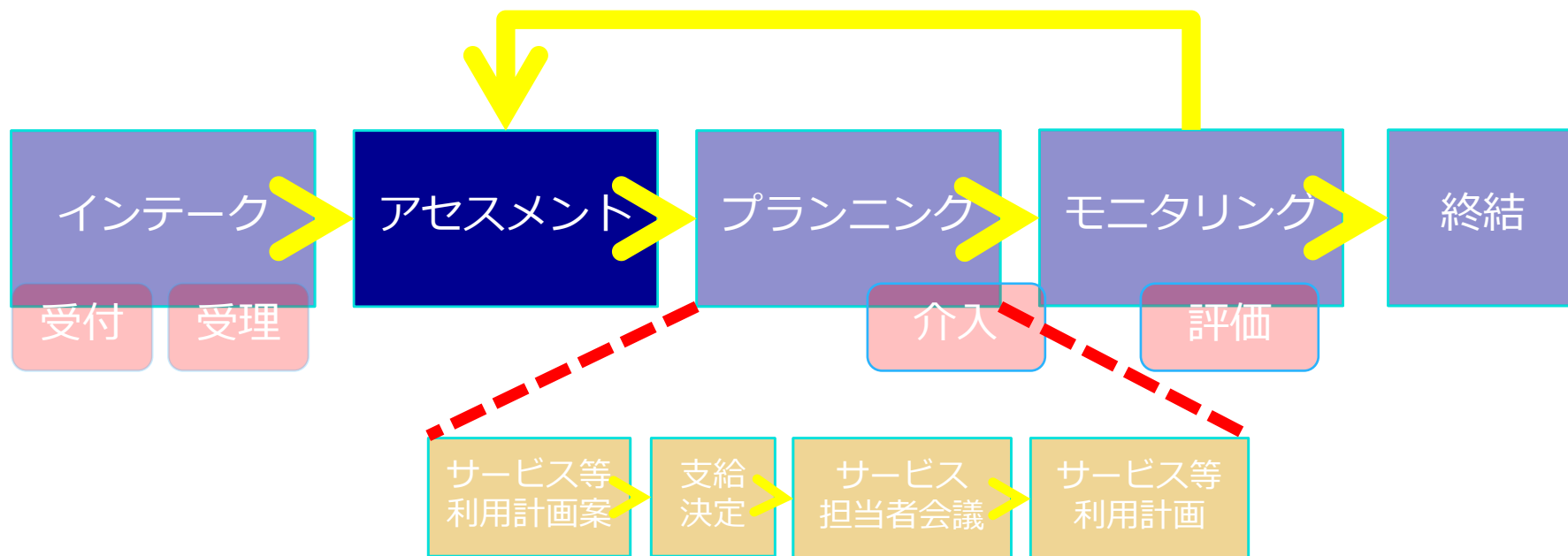
# ◎ ニーズ整理表についての説明 （新カリキュラムから導入）

地域生活支援センター 天花  
藤田 利江



## §2 アセスメント（情報の収集と分析）

### 演習1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術





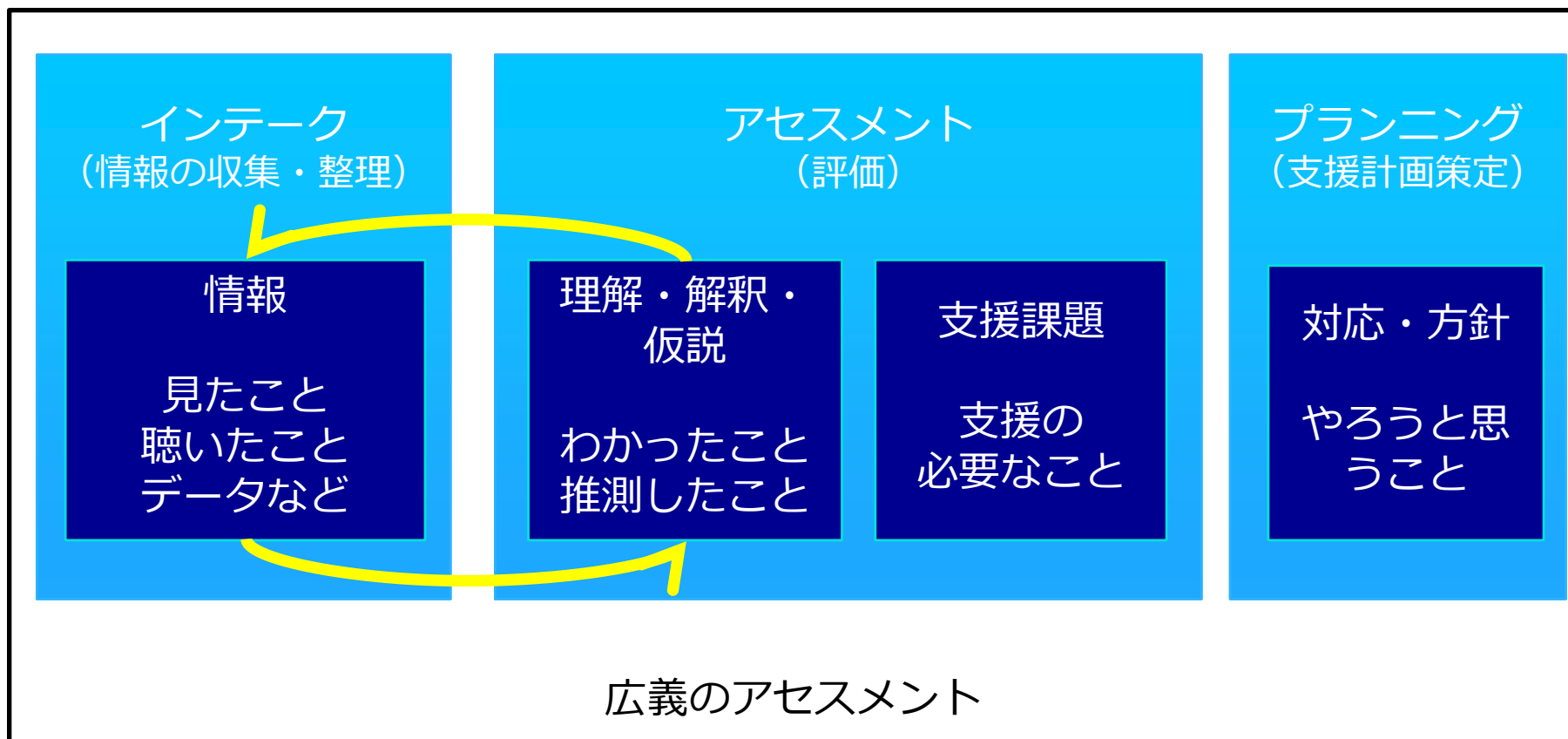
# 復習 アセスメントの留意点①

演習 1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術

## ニーズ整理

- ・ 本人の意思表示、客観的状況、支援者や周囲の判断を分けて考える。  
(基本は本人の言葉や、選んだこと、好きなことから始まる)
- ・ **援助者（自分）の判断の根拠**を可視化、言語化する。

# 二一ズ整理



近藤直司

『医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック』

ニーズ整理票		アセスメント			プランニング
インタビュー 情報の整理 (見たこと、聴いたこと、データなど：事実)		理解・解釈・仮説 (作成者のとらえたかた、解釈・推測)	理解・解釈・仮説② (専門的アセスメントや他者の解釈・推測)	支援課題 (支援が必要と作成者が思うこと)	対応・方針 (作成者がやると思うこと)
<p>本人の表明している 希望・解決したい課題</p>	<p>(作成者の)おさえておきたい情報</p>	<p>生物的事象</p>			
		<p>心理的事象</p>			
		<p>社会性・対人関係の特徴</p>			
		<p>環境</p>			
<p>今回大づかみに捉えた本人像(100文字程度で要約する)</p>					
<p> </p>					



# 「見立て」のヒント

## 「黄色のベ●ザブロックください。」

- ・薬を買いに来たのか！（事実の追認）
- ・鼻づまりなのかな？（症状の推測）
- ・風邪？アレルギー？（原因の推測）
- ・つらそうだ（観察）
- ・どれくらいつらいんだろう？（程度の疑問）
- ・病院には行ったのだろうか（治療の疑問）
- ・病院に行ったほうがいいのではないか（治療の疑問）
- ・病院に行く余裕がないのではないか（環境の推測）
- ・まずは症状を抑えたいのではないか（希望の推測）
- ・同様の薬を特売しているのでそちらを勧めよう。

アタマの中で、  
何も思わない人  
はいない

# 「見立て」のヒント

## 「黄色のベ●ザブロックください。」

アタマの中で、  
何も思わない人  
はいない

- 本人の主訴や様々な情報を手掛かりに  
→ 根も葉もない推測は削除する。  
→ 真実から遠い推測は削除する。  
(前提として、そのために必要な情報を入手する)
- 本人のゴールを確かめ(ともに作り)  
→ 確かに本人の望んでいることは何なのかをつかむ。
- そのゴールの達成に必要な推測を続け、  
**確かなこと**を高めてゆく(根拠に基づく推測をする)。



# 二一ズ整理

## インタビュー (情報の収集・整理)

### 情報

見たこと・聞いたこと・データなど

### 本人の希望

「黄色の  
ベ●ザ  
ブロック  
ください。」

### (支援者自身の)押さえておきたい事実

- ・くしゃみと鼻水が2週間続きつらさが継続。
- ・11月、秋花粉の時期
- ・毎年こうなる
- ・他の症状はない
- ・毎年薬を出してもらっていた。

## アセスメント (評価)

### 理解・解釈・仮説

- ・風邪もしくはアレルギーではないか。
- ・花粉アレルギーで、自分の状況はよくわかっているが、今年は医者に行きそびれ、市販薬を買いに来たのではないか。

### 支援課題

- ・(過去にもこの薬を使ったことがあるか確認し)市販薬を販売する。
- ・今年も受診をすすめる。

# 二一ズ整理① 本人の希望をおさえよう

インテーク  
(情報の収集・整理)

情報

見たこと・聴いたこと・データなど

本人の希望

赤

赤

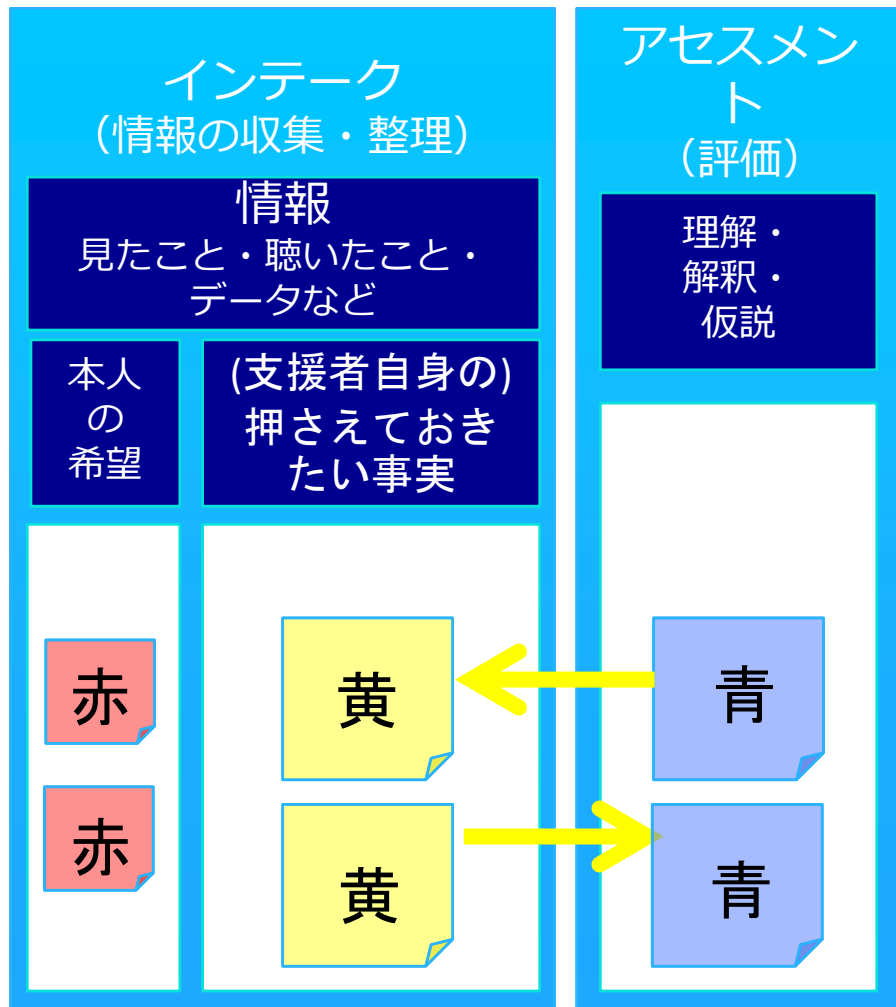
もう一度事例を読み込みます。

① 本人の意思や希望を赤いふせんに書き出します。  
(そのままの言葉で)

★ 1項目に1枚のふせん

**【再確認】**

# ニーズ整理② 「見立て」てみよう



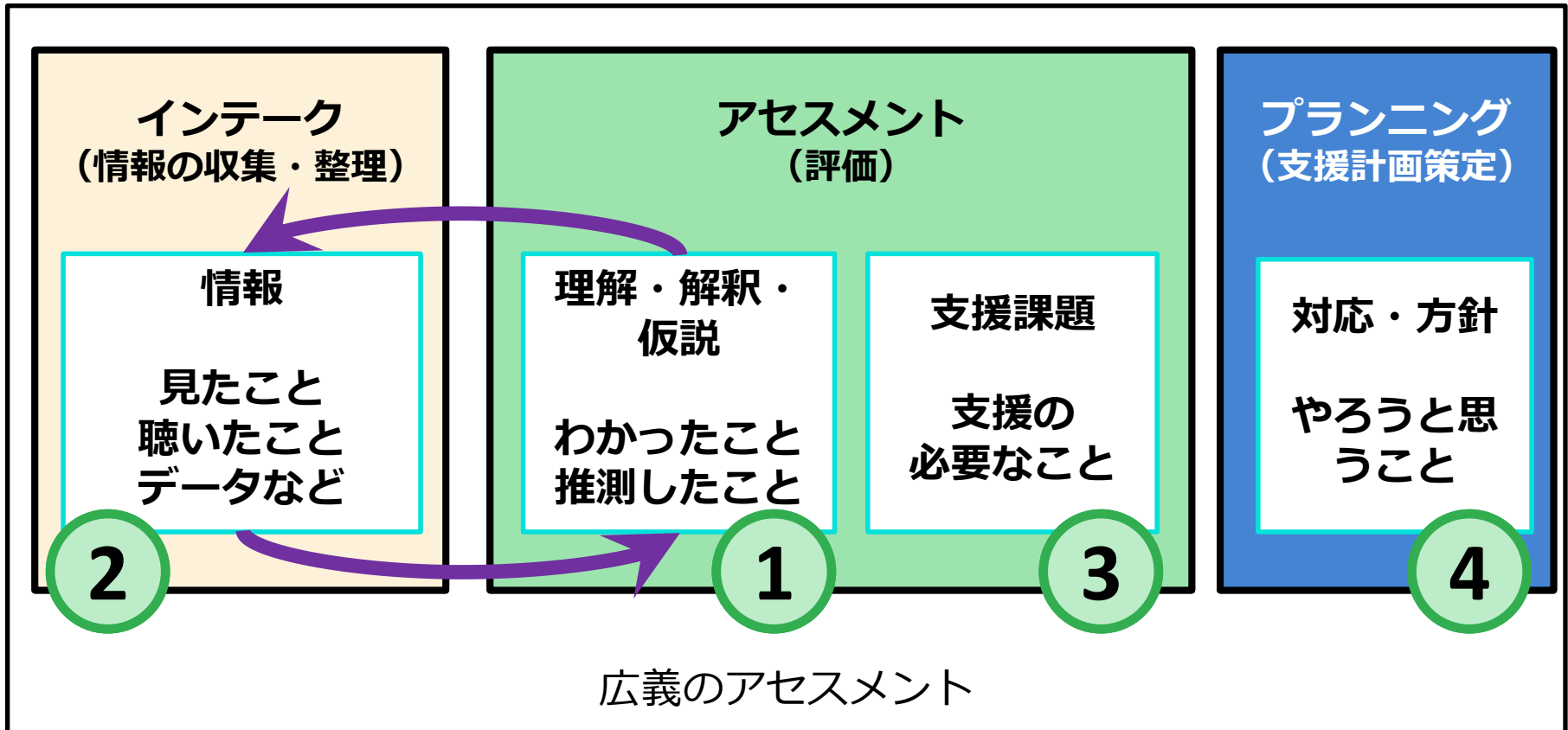
アタマの中で考えていることを可視化します。

① 「もしかしたら〇〇かもしれない」というような仮説（理解・解釈）などを**青のふせん**に書き出します。

②（見たこと聞いたことの）事実や情報を**黄色のふせん**に書き出します。

**ふせん1枚に1つ書いてください。**

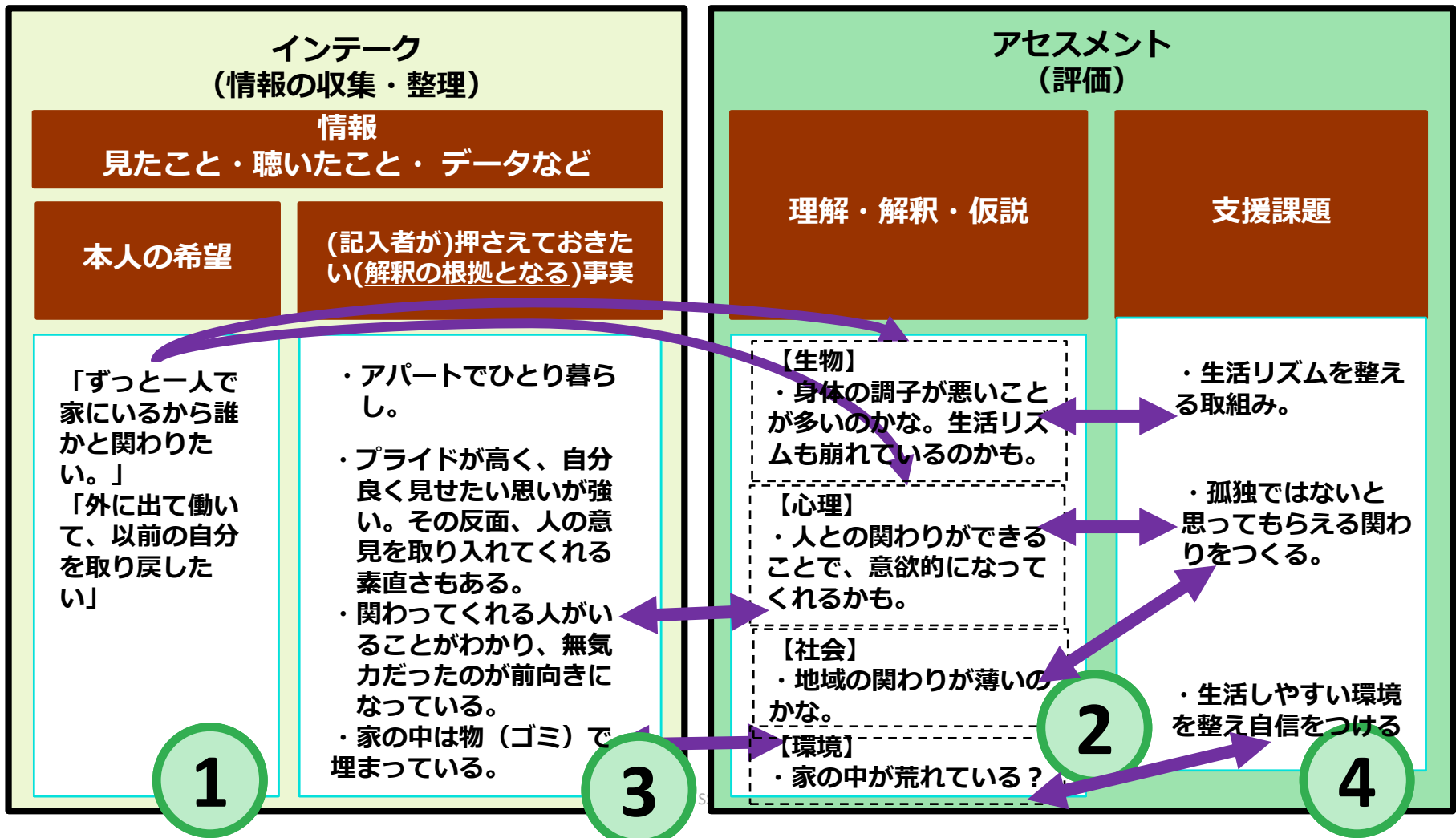
# ニーズ整理の方法（1）



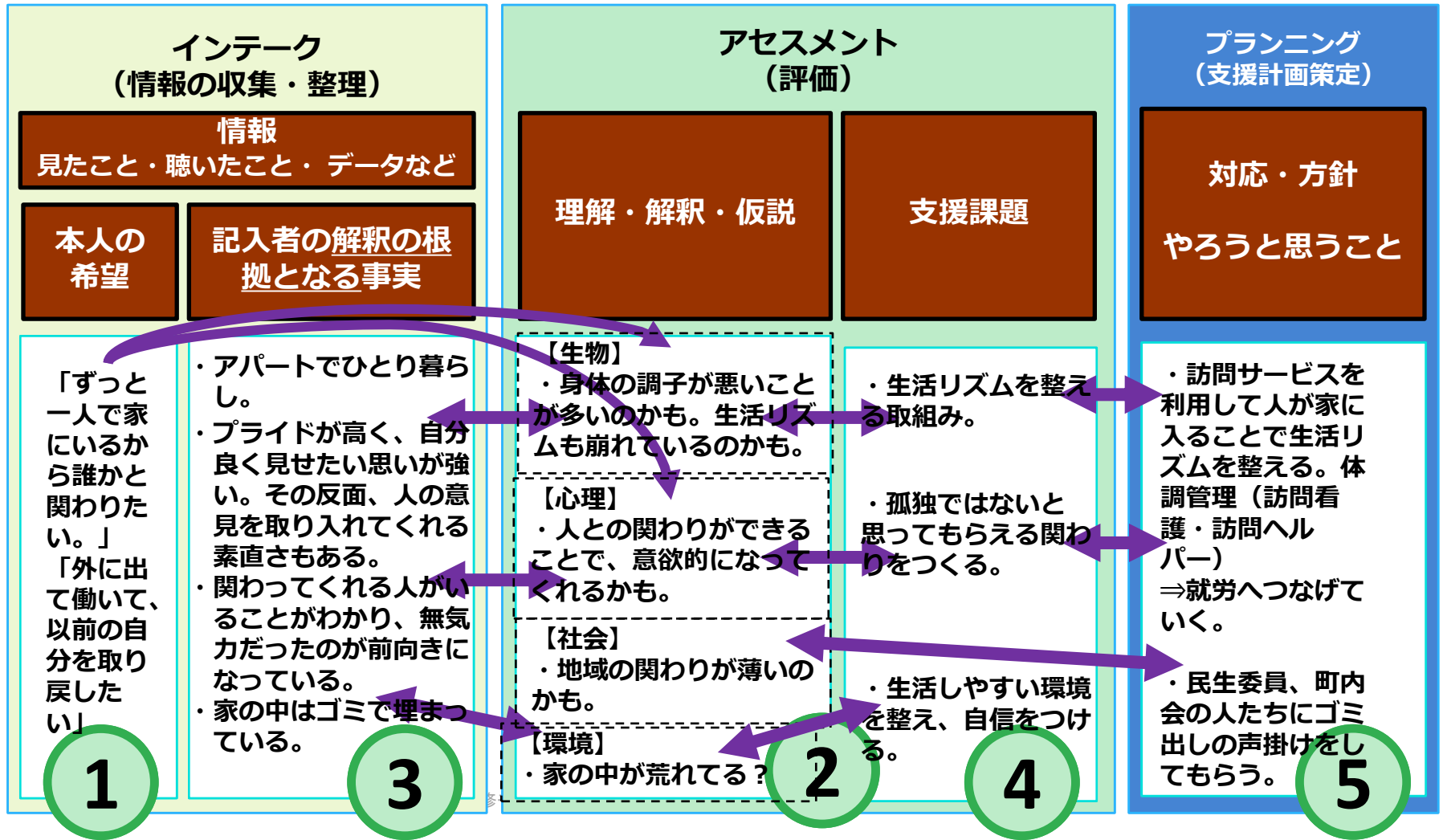
近藤直司

『医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック』（明石書店）を改変

# ニーズ整理の方法（2）



# ニーズ整理の方法 (3)



**インターバル実習の最大のねらいは**

**地域の相談支援事業所とつながる** ことです！

**受講生が相談支援専門員になった時に、  
つながりを活かして仕事ができるように。  
みなさんとのつながりが支えになります。**